

～ひかり～



7月生活目標：暑さに負けずがんばろう

令和5年7月4日 文責：校長 徳弘

6月の参観日から ～授業参観・災害時引き渡し訓練～

6月18日（日）は、今年度2回目となる参観日でした。ご参観ありがとうございました。参観授業では、災害時引き渡し訓練に合わせて防災学習や、各教科の授業をそれぞれに公開しました。徐々に学級担任との授業にも慣れてきました。1年生もしっかり学習に取り組めるようになってきました。“授業で学ぶ力をつける” これからも日々の授業を大切にしていきます。

班机でも集中！
[1年1組:防災]



考えて書く！
[3年:防災]



合同な図形とは…[5年1組:算数]

去年、3年ぶりに行った災害時引き渡し訓練では、学年毎に最長子の引き渡しカードが整理された机を境に、保護者の皆さんと子ども達がそれぞれ学年（子どもはさらに学級）毎に並んで向かい合い、保護者の並んだ順番により各学年の引き渡し受付机に進んでもらい、引き渡しカードを確認しながら、兄弟姉妹も一緒に保護者に引き渡すという新しい方式にしました。

今回は、この新方式を再度実施して、子ども達も、保護者の皆さんも、私達教職員も、より確かに認識し定着させる目的で行いました。二年連続実施できたことで、昨年度にも増して、秩序よくスムーズに訓練ができました。いざ災害となった実際の引き渡し時には、保護者の皆さんはそれぞれのタイミングで集合場所に来るでしょうから、イメージとしては、子ども達があの状態で待っている所に、保護者やご家族の皆さんが来られて、カードを確認しながらお子さんを引き渡すこととなります。なお、児童の集合場所は、学校であれば校庭、体育館、3階ホール等、大津波が想定される場合は、丸の内ハイランド内の広場（丸の内第1公園、丸の内第2公園等）での引き渡しとなります。“確実に引き渡す”よう努めますので、今回の訓練を参考に、いざという時にはよろしくお願ひします。参考までに、一昨年度、学校通信で提起した本校の地震津波時・大津波時の避難の考え方と避難場所について、再度、お知らせをします。



シェークアウト訓練からスタート
机の下に身を隠して[2年1組]



カードを確認↑
←整然と待機



親子で手をつないで…

6年生 仲良く楽しく規律ある修学旅行でまた一步成長!

新型コロナウイルスの影響を受け、昨年度までの3年間は、旅行先を四国内にしていた6年生の修学旅行でしたが、今年度は、感染症分類が5類に移行し対応が緩やかになったこと、ゴールデンウィーク後も感染が広がらなかったことから、旅行先に広島県を加えて、予定通り6月7日(水)～9日(金)までの2泊3日で、小学校時代の思い出の旅を楽しんできました。



【1日目】保護者の皆さんの少し寂しげで、それでいて3日間の成長を楽しみにしている温かいまなざしにみつめられながら、規律正しく整然と引き締まった出発式から始まった今年の修学旅行。宿毛市内では、4年1組の担任だった武田先生と信号待ちで並列し、手を振り合うドラマのような場面も経ながら、国道56号線と松山自動車道を走りました。バス酔いが心配された児童が多かったのですが、大丈夫!車内では、1号車、2号車それぞれにガイドさんの上手で知識豊富な語りや、自分達や保護者の皆さんの力を借りて準備したゲームや歌を楽しみながら、全員笑顔で松山観光港へ。1組・2組一緒になった松山⇒広島・呉間のフェリー船内では、船から見える海や島の景色を楽しみながら、友達同士、男女関係なく集まっての記念写真。旅行気分が一気に盛り上がりました。

呉に上陸してからは、綺麗に整備された自動車道を利用して一路宮島港へ。再び船に乗り、遠くからだと水に浮いたように見える赤い鳥居と広く立派な社殿のある世界遺産厳島神社を、丁寧なガイドさんの説明により見学しました。そして、他県の修学旅行生と一緒に、思わず歓声を上げたアシカショーや館内の海の生物を楽しんだ宮島水族館、随所でシカと遭遇しながら、外国人や小・中・高校生であふれるお土産店街を散策。四国を離れての楽しい一日目を終えました。



1組←宮島でシカと一緒に→2組

【2日目】5月広島開催のG7サミットの影響で、多くの修学旅行生や観光客により混雑が想定されるとの添乗員さんの計らいで、世界遺産原爆ドームの周辺散策と、“8時15分の平和の鐘”を、間近でみつめ聞いた後は、開館と同時に平和記念資料館に入館。子ども達は、専用の学習ノートを片手に、各展示物の前で立ち止まってはメモを取り、写真や模型、シュミレーション画像や実物を目の前にしながら、学びを深めました。そして、小学校2年生の時に、あの8月6日を体験した八幡(やはた)さんから、あの日に見た世界、体験したこと、その日、その後に関わり、考え、思ったこと、そして、今も思う平和を願う心、家族を愛する心、生きる・生きていくという意味と意義を伝える熱い心のこもった話を聞きました。雨が心配される中、ガイドさんの機転のきいた見学コースと丁寧でわかりやすい説明により、平和公園内をフィールド学習する途中では、コロナ禍の影響で学校で保管していた中村小学校全員の平和への願いを込めた3年分の折り鶴を、誓いの言葉と共に佐々木さだこさんをモデルとした「原爆の子の像」のあるブースに、奉納しました。



3年分の平和への願いを届けました↑
←G7 首脳が献花した場所をバックに

昼食は、名物広島風お好み焼きを堪能。絶妙の手さばきで一気に全員分を作り上げる職人技も堪能しました。そして、広島駅ビル内のお土産物売場で思い思いに買い物をした後は、プロ野球広島カープの本拠地、マツダズームズームスタジアム広島を見学。球場内の選手ロッカーやベンチ、ブルペンや記者席等、普段は入れない場所も見学できました。午後からはあいにくの雨に見舞われましたが、幸いにも建物内や高速自動車道を通って広島県⇒岡山県⇒香川県へのバスの車中。またまた車内はゲームや歌で盛り上がり、いつの間にか壮大な瀬戸大橋、瀬戸内海上を快適に走り抜けてホテルに到着しました。

【3日目】最終日は、まずは、“こんぴらさん”で知られる金刀比羅宮へ。参道入口から本宮までの石段の数が785段もありますが、有志の子ども達は、元気に本宮に駆け登りました。

最後に、子ども達が楽しみにしていたNewレオマワールド。行動班に分かれてお目当てのアトラクションへ…。バードフライヤー、ジェットコースター、ゴーカート、大観覧車、スカイサイクル、パイレーツ、ホラーハウス、メリーゴーランド等、子ども達は笑顔满面、時間いっぱい仲良く楽しみました。

2組



Newレオマワールド（香川県丸亀市）

1組



見学地でも、ホテルでも、クラスを越え、男女も越えて、いつの間にか輪ができ、楽しい語りいと明るい笑顔が生まれる。ちょっと元気がないかな？と気づくと、さりげなく誰かが声を掛け、仲間に入れたり、意向を聞いたり…と、40人の子ども達の優しさ温かさ仲の良さを感じる場面が多々ありました。平和学習の講師八幡さんから、「規律正しくしっかりと話を聞いてくれ、質問や感想の時には、積極的に手をあげ、きちんと自分の考えや思いが発表できる。とても素晴らしい子ども達なので、話をされていて気持ちよかったです。」有難く嬉しいほめ言葉をいただきました。4年生の時からを知る私（校長）にとっては、一人の人間としての、集団としての成長を実感した嬉しい3日間でした。また、歌のうまさ、学ばずと遊ぶ時のけじめの凄さも実感。褒めても、注意をしても素直に受け入れる態度や人間性にも、6年生の子ども達のよさを感じました。きっと愛情をもって育ててくれるご家庭での関わり、これまでの先生方の優しさや厳しさのある関わりのおかげでしょう。3日間を通じて、子ども達は、修学旅行でしかできない貴重な学びや経験をしながら、楽しい思い出をたくさん作り、絆を深め、一段と成長することができました。旅行先の決定判断を含めて、保護者の皆さまのご理解とご協力に心から感謝します。



● 8月の行事予定 ●



児童会月目標		規則正しい生活をしよう		
日	曜	学校行事等	図書館	プール
1	火	四万十市・三原村小学校水泳記録会(5年:午前 6年:午後)[安並プール]	○	○
2	水	水泳記録会予備日 校内研修(午後)	○	○
3	木	全校登校日 交通指導(学級委員) 校内研修(午後)	○	○
4	金	四万十市教育研究会サークル研修(午前) 四万十市人権教育研究大会(午後)	休	休
5	土			
6	日			
7	月	学校閉庁日開始(~15日)		
8	火			
9	水			
10	木			
11	金	山の日		
12	土			
13	日			
14	月			
15	火	↓		
16	水	学校閉庁日に準ずる期間(~18日)	○	休
17	木	↓	○	休
18	金	↓	○	休
19	土			
20	日			
21	月		○	○
22	火		○	○
23	水		○	○
24	木		○	○
25	金		○	○
26	土	四万十市民祭納涼花火大会 (20:00)		
27	日			
28	月		○	○
29	火		○	○
30	水	職員会(午前) 校内研修(午後)	休	休
31	水	校内研修・中村中学校外国語科教材研究会(午後)	休	休

*8月7日(月)~15日(火)は、学校閉庁日です。何か重要事項、連絡事項等ありましたら、四万十市教育委員会(☎34-5445)か各学級担任等にご連絡をお願いします。 ◆第2学期始業式:9月1日(金)





地震・津波避難訓練



6月18日（金）の6時間目に、全校で地震・津波避難訓練を実施しました。

実は、当初5月上旬に予定しており、以降、ずっと雨で延期になっていました。その間、昨年度までの学校の課題であった津波避難の場合の避難場所について、中村中学校と市役所地震防災課・学校教育課と協議をしました。震度7強程度の地震には十分耐えられる建物で、3階までの海拔は13mを超える校舎を有する本校と中村中学校は、東日本大震災級以下の地震であれば、過去の大地震・津波の歴史や最新のハザードマップをみても、津波に対する避難は、本校校舎の3階（中学校は4階）で十分であるという結論に達しました。但し、近未来に予想されている南海トラフ大地震が過去にない規模で起こり、堤防を越えて10数mを超える大津波が来る、もしくは校舎が倒壊し戻ることができない場合には、校庭に集合後、直ちに、中村中学校と共に丸の内ハイランド・為松公園付近の安全な高台に避難することとしました。

（中略）

地震や津波は、学校で起こるとは限りません。ぜひ、ご家庭でも、もし大地震が起こった時、津波がくる時に、どうしたらいいか、どこへ避難するかなど話し合っておいてください。

[令和3年6月8日の地震・津波避難訓練]

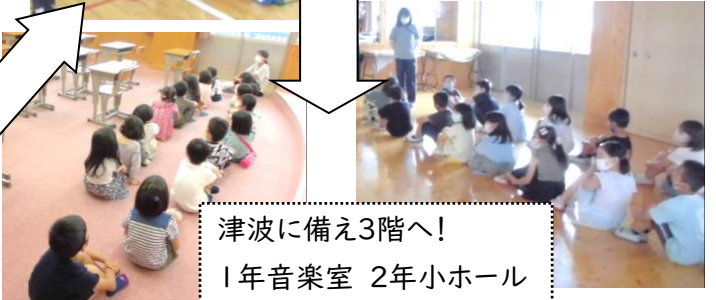


机の下にもぐり込んで…

揺れが治まるのを待っています



体育館集合!全員の安全を確認!!



津波に備え3階へ!
1年音楽室 2年小ホール



頭を守って移動!

[令和4年12月20日のひかりこども園との津波時合同避難訓練]



6年生が気遣いながら3階へ

移動した3階ホールで仲良く待機



丸の内第1公園 (丸の内ハイランド)

↑大津波時避難場所↓



丸の内第2公園 (丸の内ハイランド)